

時間帯の表現

用語	時間帯	用語	時間帯	用語	時間帯
未明	0～3時	昼前	9～12時	夜の初め頃	18～21時
明け方	3～6時	昼過ぎ	12～15時	夜おそく	21～24時
朝	6～9時	夕方	15～18時		

雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造想定)	屋外の様子	乗車中
10以上 20未満	やや強い雨	ザーザー降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に水たまりができる。	
20以上 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい。
30以上 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	傘をさしてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。	道路が川のようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。 (ハイドロプレーニング現象)
50以上 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)				
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。 恐怖を感じる。	傘は全く役にたたなくなる。		水しぶきで辺り一面が白っぽくなり視界が悪くなる。	車の運転は危険

出水・伊佐における大雨注意報・警報発表基準

区分		区域と1時間雨量	備考
大雨	注意報	平地：30mm以上、山地：40mm以上	土壌雨量指数：107
	警報	平地：70mm以上、山地：80mm以上	土壌雨量指数：152

※ 記録的短時間大雨情報： 1時間雨量 120mm

出水市の洪水注意報・警報の発表基準 (出水市内の5河川の流域雨量指数)

基準河川	基準Ⅳ	基準Ⅲ	基準Ⅱ		基準Ⅰ	
	単独	単独	単独	複合	単独	複合
米之津川	52.2	43.5	39.5	29.6	31.6	26.6
野田川	32.4	27.0	24.5		19.6	
平良川	23.8	19.8	18.0		14.4	
高尾野川	23.5	19.6	17.8		14.2	14.2
鍋野川	26.6	22.2	20.2		16.1	

凡 例

洪水警報基準

洪水注意報基準

- : 基準Ⅳ単独 : 大雨特別警報（浸水害）の指標に用いる基準
- : 基準Ⅲ単独 : 洪水警報基準を大きく超過した基準（外水氾濫）
- : 基準Ⅱ単独 : 洪水警報基準（外水氾濫）
- : 基準Ⅱ複合 : 洪水警報基準（湛水型の内水氾濫）
- : 基準Ⅰ単独 : 洪水注意報基準（外水氾濫）
- : 基準Ⅰ複合 : 洪水注意報基準（湛水型の内水氾濫）

風の強さと吹き方

平均風速 (m/s)	予報用語	時速換算	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	瞬間風速 (m/s)
10以上 15未満	やや強い風	～ 50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹き流しの角度が水平になり高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15以上 20未満	強い風	～ 70km	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。 高所での作業は極めて危険	電線が鳴り始める。 看板やタン板が外れ始める。	高速運転中では横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根部材が外れるものがある。 雨戸・シャッターが揺れる。	
20以上 25未満	非常に強い風	～ 90km		特急電車	何かにつかまっていけないと立てられない。 飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常ので運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根部材が飛散するものがある。
25以上 30未満		～ 110km	固定されていないプレハブ小屋が移動・転倒する。ビニールハウスのフィルム(被膜材)が広範囲に破れる。					
30以上 35未満	猛烈な風	～ 125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるものがある。 ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の部材がめくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
35以上 40未満		～ 140km					外装材が広範囲にわたって飛散し下地材が露出するものがある。	
40以上		140km～					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

台風の強さ・大きさ、予報円・暴風域の見方

【台風の強さ】

1 最大風速

区分	最大風速（10分間平均風速）
強い	33 m/s（64ノット）以上44 m/s（85ノット）未満
非常に強い	44 m/s（85ノット）以上54 m/s（105ノット）未満
猛烈な	54 m/s（105ノット）以上

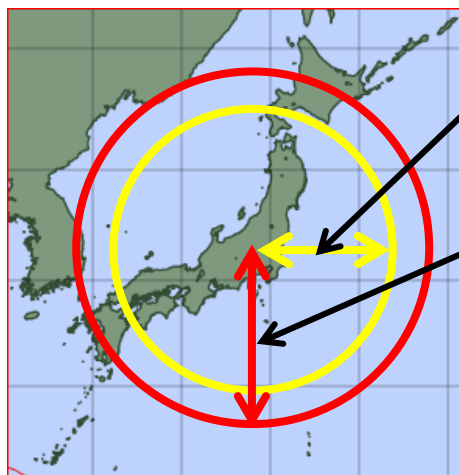
※ 台風の定義は、平均17 m/s以上

2 強風域・暴風域

区分	平均風速
強風域	15 m/s以上の風が吹く範囲
暴風域	25 m/s以上の風が吹く範囲

※ 平均風速なので瞬間的には1.5～2倍程度の風が吹くことがある。

【台風の大きさ】 強風域の半径サイズが基準



- 1 大型（黄色の範囲）
半径500 km以上800 km未満
- 2 超大型（赤色の範囲）
半径800 km以上

赤色の円の軌跡：暴風警戒域



白点線：予報円

黄色の円：強風域

赤色の円：暴風域

【予報円】 「強さ」や「大きさ」とは関係ない。

- 1 予報円の大きさは、台風進路の不確かさを表している。
- 2 台風の中心が70%の確率で入る範囲を示しており、円が小さいと予報の信頼度が高い。

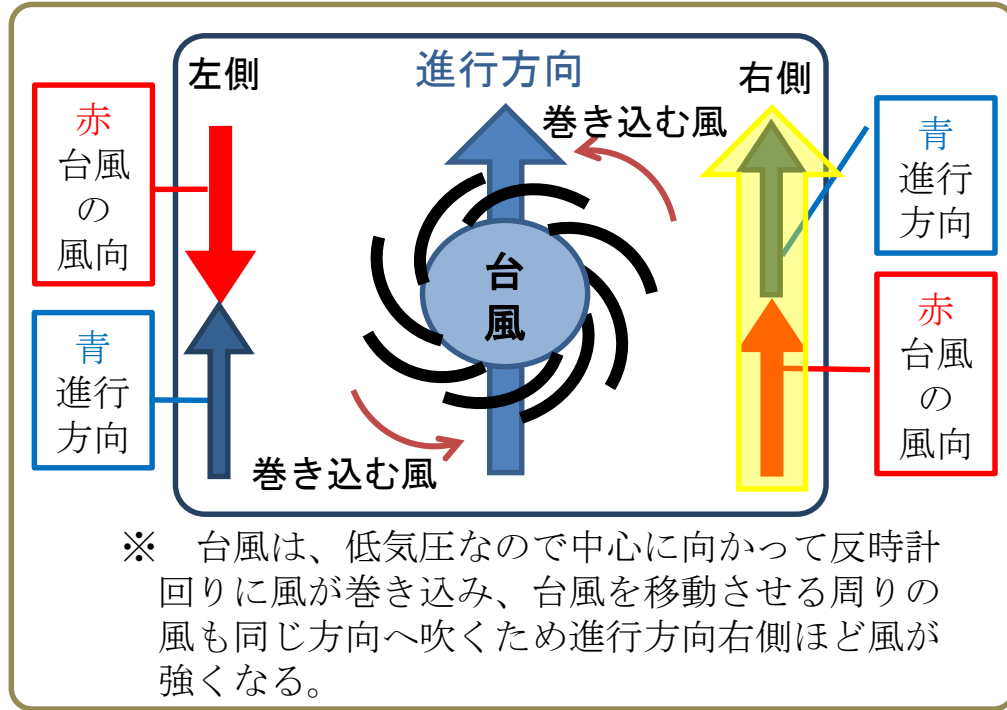
台風の右側（危険半円）は要注意

【右側ほど強い風】

1 台風の左側と右側では、風の被害の大きさも異なる。

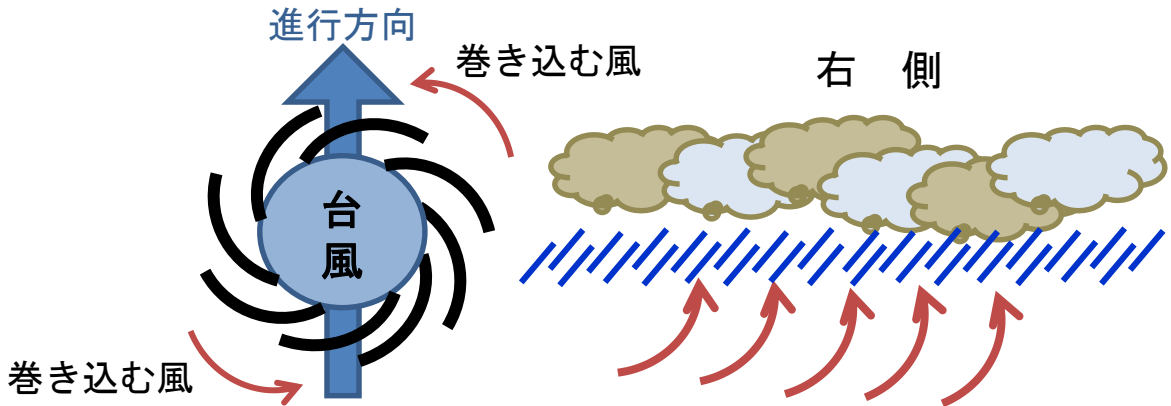
2 右側
台風を動かす風の向きと中心に向かって吹き込む風の向きが一緒になり、風の勢力が増す。

3 左側
台風を動かす風の向きと中心に向かって吹き込む風の向きが異なるため、相互に打ち消し合い勢力は右側ほど強くない。



【右側ほど強い雨】

1 台風の左側と右側では、雨の被害の大きさも異なる。



2 台風は低気圧なので、中心に向かって反時計回りに風が吹きこむ。中心に向かって海からの温かく湿った空気を取り込み、積乱雲が次々に発生・発達し、激しい雨を降らせる。

【右側は高潮にも警戒】

海岸に近い所では、高潮被害も大きく、特に台風の右側の地域で、南に開放した湾の場合は、南風が吹き続けるため、高潮被害が起こりやすい。

地震の揺れと被害想定

震度	被害想定
0	人は揺れを感じない。
1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。
2	<ol style="list-style-type: none"> 1 屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。 2 電灯などの吊り下げ物が、わずかに揺れる。
3	<ol style="list-style-type: none"> 1 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 2 棚にある食器類が、音を立てることがある。
4	<ol style="list-style-type: none"> 1 かなりの恐怖感がある。 2 吊り下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。
5弱	<ol style="list-style-type: none"> 1 多くの人が見の安全を図ろうとする。 2 棚にある食器類、書棚の本が落ちたり、窓ガラスが割れて落ちることがある。
5強	<ol style="list-style-type: none"> 1 非常な恐怖を感じ、多くの人が行動に支障を感じる。 2 テレビが台から落ちたり、タンスなど重い家具が倒れることがある。 3 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
6弱	<ol style="list-style-type: none"> 1 立っていることが困難になる。 2 耐震性の低い木造建物は、倒壊するものがある。 3 地割れや山崩れなどが発生することがある。
6強	<ol style="list-style-type: none"> 1 這わないと動くことができない。 2 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 3 耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では倒壊するものがある。